



# 保健師だより



## 増えている肺がん・乳がん

がんは昭和56年から死因の第1位となっており現在は3人に1人ががんで死亡しています。男女合わせての部位別で見ると、1位が肺がん、2位が大腸がん、3位が胃がん、以下すい臓がん、肝臓がんと続いています。なかでも、男性の肺がん、女性の乳がんは急増しています。また、日本人の2人に1人が生涯のうちがんにかかるといわれています。

### ■部位別罹患患者数

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	前立腺	肺	大腸	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター



### \*肺がん\*

肺がんは40歳代後半から増加し始め高齢になるほど罹患率、死亡率とも高くなります。また、男性は女性の2～3倍の罹患率、死亡率となっています。

肺がんは喫煙との関係が非常に深いがんですが、たばこを吸わない人でも発症することがあります。また、周囲に流れるたばこの煙を吸う受動喫煙により発症リスクが2～3割高まることもわかっています。

禁煙によって長くタバコを吸っている人でも5年でリスクが下がります。たばこの他にも、アスベスト、シリカ、クロム、コールタール、放射線、ディーゼル排ガスなどへの職業や普段の生活での曝露<sup>ばくろ</sup>、石油ストーブの燃焼などもリスク要因となる根拠は十分あります。

### \*乳がん\*

乳がんは誰にでも罹る可能性がある病気です。日本人女性の12～13人に1人が生涯に乳がんになるといわれています。30代から増え始め40～60代がピークです。しかし、乳がんは早期発見・早期治療によって生存率が高いがんです。乳がんと診断された人の半数以上は自分で「しこり」をみつめています。30歳を過ぎたら入浴時などに自己触診することを習慣付けましょう。

## がん検診 愛する家族への贈りもの

### ※※大間病院の個別健診について※※

大間病院で実施している個別健診のお知らせは、病気や治療の有無に関わらず、5月から7月に行われた佐井村の複合検診（胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・特定健康診査）のうち受診していない項目が1つでもある方へ郵送しています。

受診は強制ではありません。通知が届いた方で受診を希望される場合は、大間病院へ予約し受診してください。